

# 大学発ベンチャー支援について

平成20年4月吉日  
中部テクノロジーシード株式会社

## 1. 大学発ベンチャーについて

### 1) 知的財産の第2の活用法

大学研究室の研究成果である発明等の知的財産の活用方法には企業への発明の技術移転（パテントライセンシング）があるが、完成度の低い状態である発明技術を導入してくれる企業は少なく、幸いにもライセンサー企業が見つかって投入した資金を回収するまでに長い待ち時間が発生し、利益を享受できる期間が少ないのが通常である。

大学発ベンチャーを起業し、同ベンチャーに関連知財を技術移転する方法が第2の活用方法である。とは別の種類のリスクが発生するが比較的短期間で投資を回収できる場合がある。英国の大学はこの種投資が得意のようである。

### 2) 代表的なベンチャーの姿と起業支援の意義

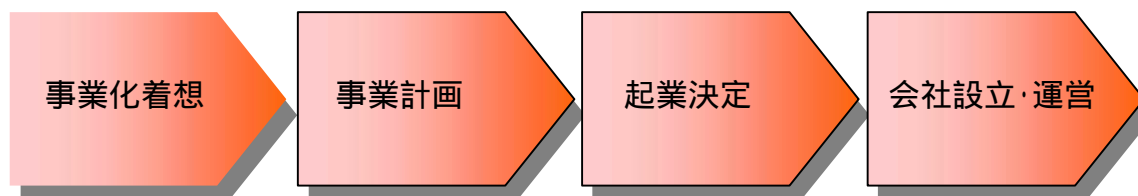
魅力的な発明であるが完成しきっていない技術であり、出願がグループにまとまっていること、技術者が優秀で市場が期待できること、事業計画が描けていることが挙げられる。逆に欠けているものとして、製品・製法が未知で、特にマネジメントが不足、情報不足、資金不足がある。

これらの状態にある大学発ベンチャーに対し、中部TLOが技術シーズの発掘過程におけるベンチャーに適したネタの掘り起こしから始まり、発明の知的資産化、起業支援から起業後の経営相談に至るまでのプロセスを、主として知財面および経営・財政面からサポートすることにより、中部TLOが大学の社会貢献および研究・教育の一形態としてのベンチャーの起業に、すなわち企業家精神の涵養に役立つことが出来ればTLO創立の使命からも好ましいと考える。

資金調達支援機能を強化するため、シード投資機能を持つ支援機関＝中部テクノロジーシード株式会社（仮称）をTLO組織（名産研）の外に新設する。支援機関は譲渡制限付きの株式会社とし投資等による報酬を株式で受け取れるものとする。同時に本支援業務は成功した場合、中部TLOの収益構造を中期的に改善する可能性があり、ライセンシング活動の増強と相俟って、財政的改善の方向を目指すものである。

## 2. 事業化へのプロセスと支援内容

基礎研究探索      技術シーズ発掘      ベンチャー支援活動  
 ( 大学内起業推進部門との密接な連携を前提 )



### 中部 TL0 の支援内容

項 目	内 容
技術シーズの発掘	大学内技術シーズを発掘し、社会還元および研究・教育の一形態として起業可能性を検討
知財戦略策定と資産化	発明を知財化し、ベンチャー企業の資産として有効利用できるよう支援
事業計画作成	金融機関(メインバンク)向けの簡略式事業計画書の作成により技術以外にもマクロに把握
公的資金の検討	大学発ベンチャーには公的資金の制度が準備されており、適切な利用法を検討
資金調達・人材確保	シードキャピタル機能を持つ支援会社を新設し投資する。局面により VC やマネジメントの紹介・コンサルティングを実施。
経営支援	会社経営に伴う法務、経理等につき、実績ある専門家を紹介。契約書等の作成支援
販路確保	製品やサービスを販売する場合のルート確保や当該分野の人脈を紹介
出口戦略策定	ベンチャー企業がレベルアップするにつれ、資本政策の立案やパートナー企業の探索を支援

## 起業支援会社について

### 支援会社概要

名称：中部テクノロジーシード株式会社

創業：平成20年4月吉日

資本金：9,500,000円

主要株主：(財)名古屋産業科学研究所 中部TLO 関係者  
JAICシードキャピタル株式会社

目的：知財・資金を活用した大学発ベンチャー支援

起業相談、起業後VB支援(人材、資金、戦略)

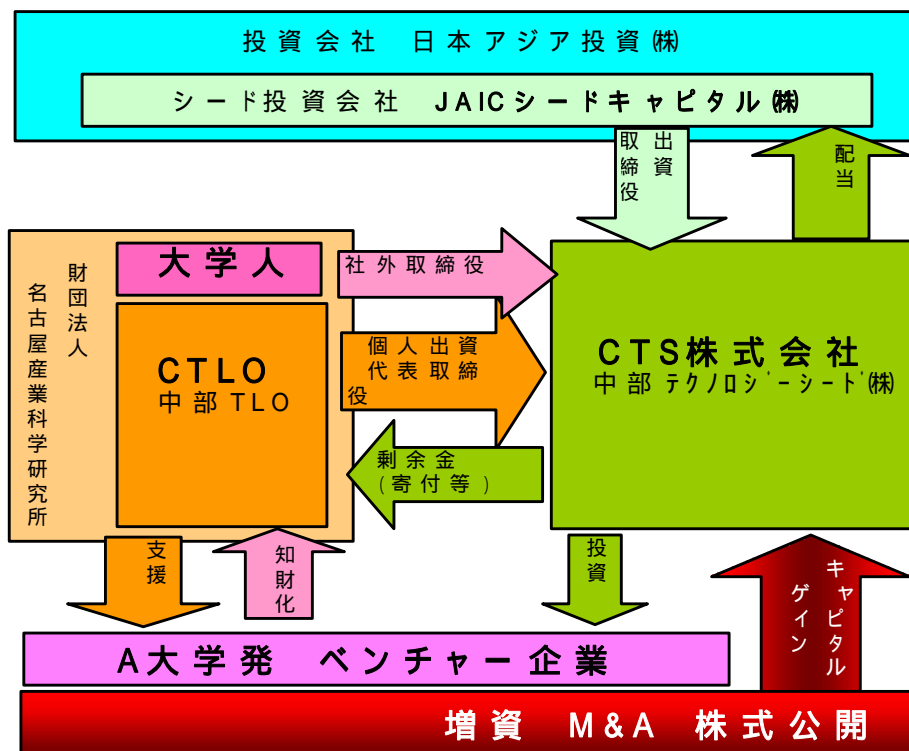
知財(発明発掘、特許出願、管理、戦略的運用)

特長：大学人の社外取締役による事業執行コントロール

### その他

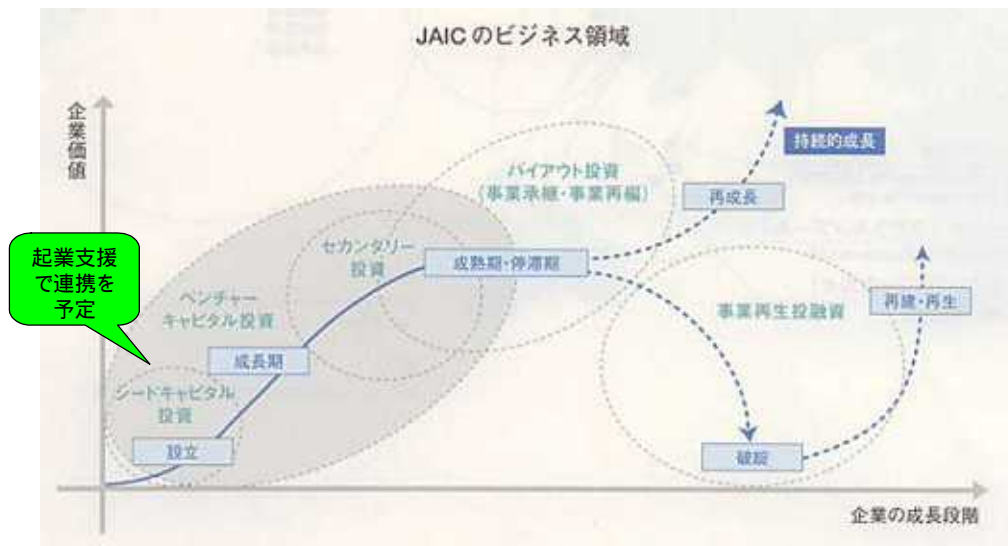
- ・ 中部TLOおよび大学との緊密な連携
- ・ TLO起業支援チームと共同作業
- ・ 投資会社の裏付けによるVBへの投資資金確保
- ・ VB創業後、発展過程に応じて出口探索調査
- ・ 固定費をMIN化する運営
- ・ 余剰利益出れば中部TLOを資金援助

### 仕事の流れ



# 協力投資会社について(1)

日本アジア投資株式会社(略称JAIC)  
同社シードキャピタル投資部門  
JAICシードキャピタル株式会社



# 協力投資会社について(2)

## 関連会社グループ

### 【提携会社】

テクノロジーシードインキュベーション株式会社  
(略称:TSI)  
資本金:274,530,000円  
代表取締役:徂西裕之  
事業目的:大学及び研究者等の研究成果の事業化支援

国際連携で  
協力継続中

### 株式会社アプリケーションブースターズ (略称:ABS)

資本金:40,000,000円  
代表取締役:梶谷 均  
株主構成:JAICシードキャピタル100%  
事業内容:IT系ベンチャーに特化した

### ■関連会社

#### 【子会社】

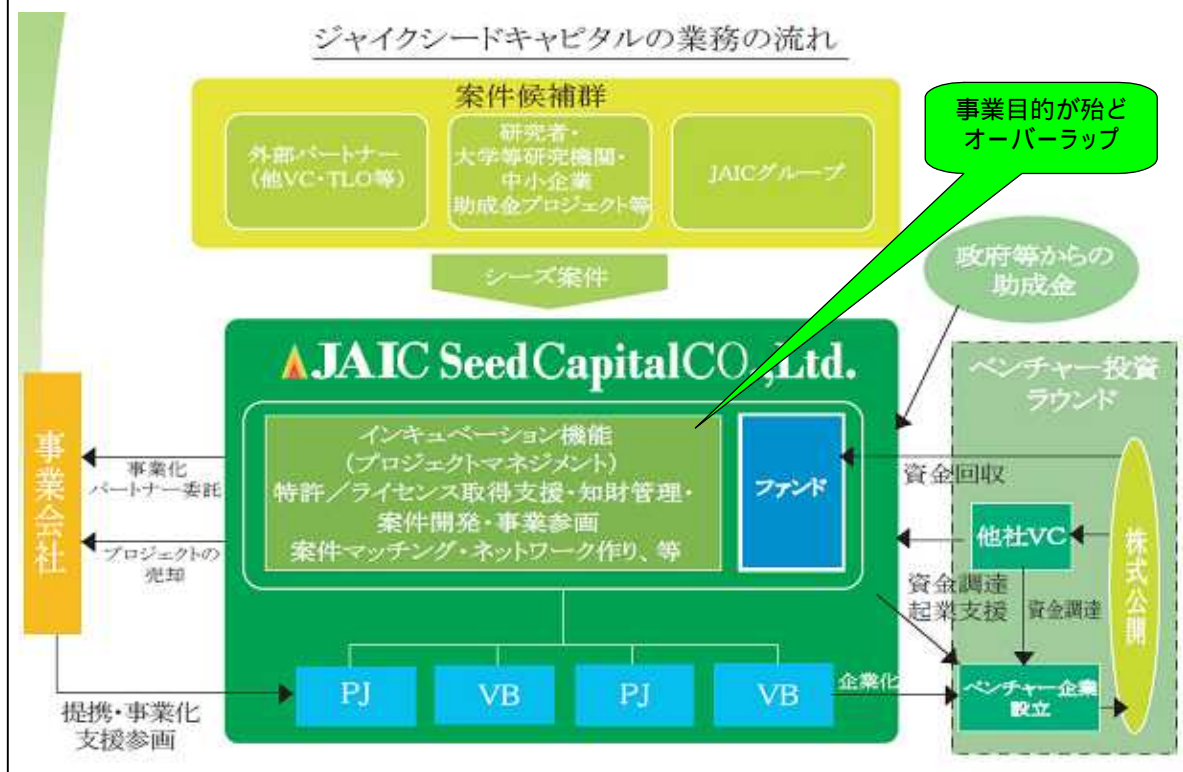
つくばテクノロジーシード株式会社  
(略称:TTS)  
資本金:24,000,000円  
代表取締役:上原健一、佐々木美樹  
株主構成:  
-日本アジア投資株式会社47.6%  
-JAICシードキャピタル株式会社47.6%  
事業内容:つくば地域を中心とした研究成果の事業化支援

つくば大学認定  
大学発ベンチャー企業

JSEEDはこのような事業育成プロセスを理解するプロフェッショナルを組織化し、日本に点在する知的生産拠点の近くに設置したインキュベータのネットワーク化を通じて、すぐれた事業シーズを育成し、世に出すプロセスをコスト効率のよい形で実現し、ベンチャーキャピタルを本業とするJAICグループのシードステージ担当子会社として機能するとともに、ひろく世の中に開かれたメカニズムとしてシード段階の事業を育成する社会的基盤として機能することを目指しています。

代表取締役社長 佐々木美樹

# 協力投資会社について(3)



# 協力投資会社について(4)

## JAIC社の海外リンケージ網

